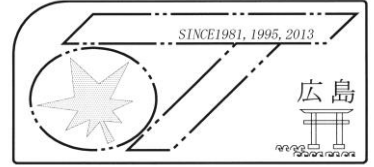


認知症作業療法 活動報告 (概要)



広島県作業療法士会では、士会役員及び事務局員、大学等学術経験者・認知症疾患医療センター設置施設の会員で社会貢献部内に認知症OT推進担当を設けている。

認知症OT推進担当部員を中心に認知症生活行為支援指導者研修を運営し人材育成を軸とした「研修」、関係機関からの要請に基づいた会員の紹介などの連携、福祉祭りなどの活動を通じた啓発活動や相談を行う「地域支援」、大学などとの連携による新たな介入方法についての検討、検証などを行う「研究」の活動を展開している。

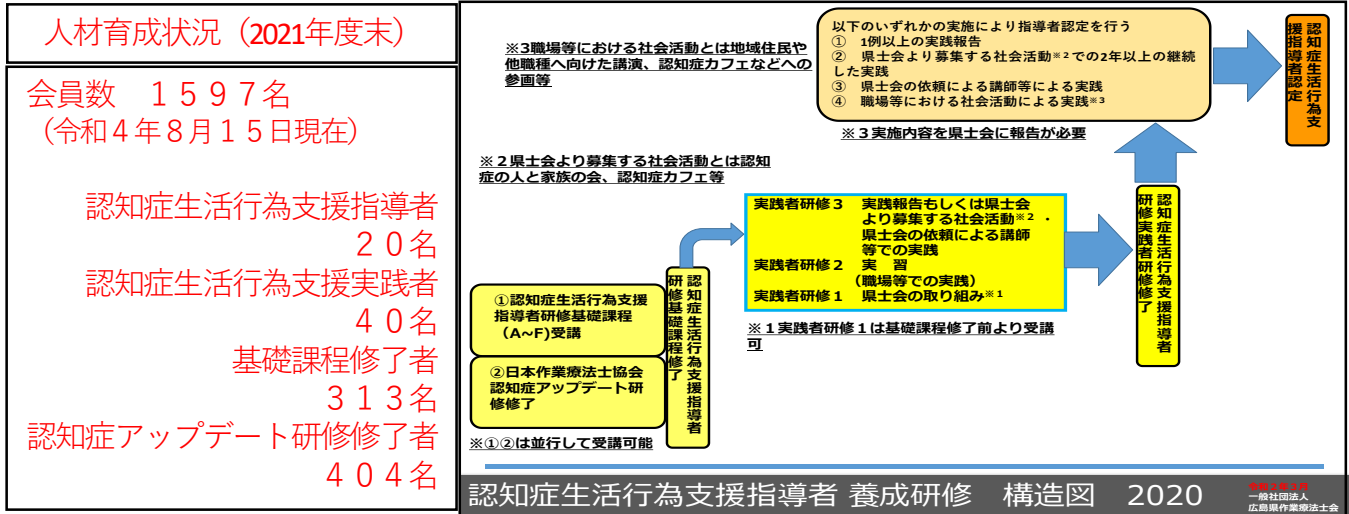
研修

認知症生活行為支援指導者研修基礎課程（テーマA~F）、実践者研修を各1回開催する。研修は下記の運用マニュアル・研修シラバスをもとに運営しており、内容の見直しについても随時実施している。

一般社団法人 広島県作業療法士会認知症生活行為支援指導者研修制度運用マニュアル・研修シラバス 第2版



<http://hiroshima-ota.kir.jp/wp-test/wp-content/uploads/2020/03/97352d2b4ea847058b104a87acd372cb-1.pdf>



地域支援

- ・関係機関からの要請に応じた会員の紹介等、情報の提供や共有
- ・若年性認知症支援ネットワーク会議委員への会員派遣
- ・行政機関との連携による認知症カフェの運営への会員の派遣 → 計4回7名の派遣

研究

県立広島大学の域課題解決研究での連携

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/uploaded/attachment/15672.pdf>

https://www.youtube.com/watch?v=hOd_sGaXr-U&feature=emb_title

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会広島支部の若年性認知症のつどい「陽溜まりの会」への会員の派遣を中心に連携を行っている。2022年度は県内3か所の「陽溜まりの会」へ計17回延べ27名の派遣を行った。2022年度も継続して会員の派遣を行っている。

COVID-19 (新型コロナウイルス) の影響・対応など

認知症カフェ等地域での活動において以前と比べ開催がされるようになってきた。感染対策を行いながら可能な範囲での参加協力を行っている。しかし感染者数が増加することで会員の参加が難しい場合が出てきている。研修事業などはWEBの活用が定着し、開催を行うことが出来ている。